

# 愛川町が目指す中学校部活動の地域移行

中学校の部活動は教育課程外でありながら教育活動のひとつとして行われてきましたが、国において、部活動は学校単位から地域単位の取組とすべきであり、部活動を段階的に地域の活動に移行をする旨の方針が示されています。

愛川町においても、国や県の提言やガイドラインに則り「中学校部活動の地域移行」について、関係者を招聘し「愛川町中学校部活動の在り方検討委員会」を設置し、協議を進めています。

## 部活動の地域移行とは

中学校部活動を地域の活動に移行していくことで、子ども達が多様な活動を体験できる機会の維持と、より望ましい指導を受けながら、将来にわたり活動できる環境の整備を進めるものです。

本町でも少子化が進む中、1つの学校でそれぞれの部活動を今までどおり維持することができなくなる可能性があります。

そのため、将来、地域のスポーツ団体やクラブによる活動への移行にむけ、現在各学校で活動している部活動に、部活動指導員を配置するなど、地域の協力者の力を得ながら、持続可能な活動を目指していきます。

## <地域移行により、今後変わっていくと考えられること>

学校部活動は、拠点校方式の実施などにより、平日の活動が減ったり、休日は別の学校で練習したりする場合があります。

平日は学校部活動、休日は地域部活動に参加するなど幅広い活動をすることができます。それぞれ別の競技(内容)を選ぶことができます。

地域のスポーツ団体・クラブが運営する場合、運営団体によっては、指導者への謝金や施設利用料金、活動場所までの交通費等の負担が発生する場合があります。

## 令和7年度以降の部活動について

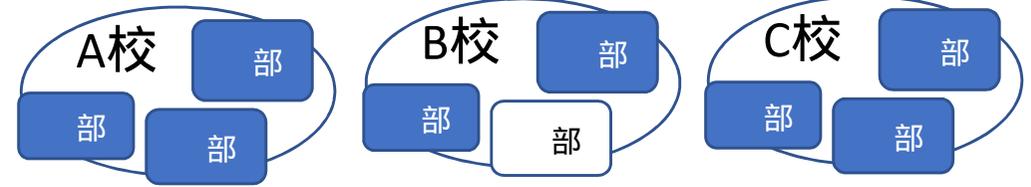
「愛川町中学校部活動の在り方検討委員会」の中で、関係者とともに協議していきます。

令和6年度は、在校生や小学生、その保護者へのアンケートを実施し、当事者である本町の子どもたちにどのようなニーズがあるかを把握し、検討を進めていきます。

## 現在

### 学校部活動

それぞれの学校にいくつかの部活動があり、町内に1つしかない部活動もあります。



### 部活動の課題

少子化

指導員の確保

教職員の負担

## 令和6年度の取組

### 部活動指導員の配置

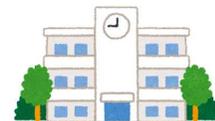
### 顧問を教職員から部活動指導員へ



専門的な知識や技能を持った地域の方が顧問に代わって指導し、教員に代わって放課後や休日の部活動の指導、大会等の引率を行います。

### 拠点校方式部活動の設置

### 1校では維持できない部を存続



希望する部活動がある

在籍する学校には設置がないけれど、他の学校には活動したい部活動がある場合、その部活動に入部し、練習や大会への参加等の活動を行うことができます。



希望する部活動がない

## 将来



学校部活動  
拠点校方式部活動  
部活動指導員 など



地域部活動  
地域のスポーツ団体・  
クラブが運営

